

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公開番号】特開 2002-141689 (P2002-141689A)
 【公開日】平成 14 年 5 月 17 日 (2002.5.17)
 【出願番号】特願 2000-331914 (P2000-331914)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 K 7/20 G

H 0 5 K 7/20 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 17 日 (2006.2.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体の内部に貫通孔を有する仕切板を設けることにより、収容室と、大気中に開口するダクトとを形成し、前記収容室へ収容したインバータユニットの冷却フィンの部分を前記貫通孔から前記ダクトの内部へ突出させ、前記ダクトの内部へ強制的に空気を循環させるファンを設けたインバータ装置において、

前記インバータユニットの収容時には前記貫通孔を開く一方、非収容時には閉塞させる開閉手段を設けたことを特徴とするインバータ装置。

【請求項 2】

前記開閉手段は、前記貫通孔に、前記ダクトへ向かって開く開閉扉を設け、当該開閉扉を閉じる方向へ付勢する付勢手段を設けて構成した請求項 1 に記載のインバータ装置。

【請求項 3】

前記付勢手段は、前記開閉扉に形成したラグと、当該ラグへ送風する前記ファンとにより構成した請求項 2 に記載のインバータ装置。

【請求項 4】

前記付勢手段として、バネを設けた請求項 2 に記載のインバータ装置。

【請求項 5】

複数のインバータユニットのうちの一部を筐体から取り出した場合に、取り出す前の当該インバータユニットの冷却フィンの存在による空気流の抵抗と略同一の抵抗を生じさせる抵抗発生手段を設けた請求項 3 又は 4 に記載のインバータ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

斯かる目的を達成するための請求項 1 に係るインバータ装置の構成は、筐体の内部に貫通孔を有する仕切板を設けることにより、収容室と、大気中に開口するダクトとを形成し、前記収容室へ収容したインバータユニットの冷却フィンの部分を前記貫通孔から前記ダ

クトの内部へ突出させ、前記ダクトの内部へ強制的に空気を循環させるファンを設けたインバータ装置において、前記インバータユニットの収容時には前記貫通孔を開く一方、非収容時には閉塞させる開閉手段を設けたことを特徴とし、

請求項 2 に係るインバータ装置の構成は、請求項 1 において、前記開閉手段は、前記貫通孔に、前記ダクトへ向かって開く開閉扉を設け、当該開閉扉を閉じる方向へ付勢する付勢手段を設けて構成したことを特徴とし、

請求項 3 に係るインバータ装置の構成は、請求項 2 において、前記付勢手段は、前記開閉扉に形成したラグと、当該ラグへ送風する前記ファンとにより構成したことを特徴とし、

請求項 4 に係るインバータ装置の構成は、前記付勢手段として、バネを設けたことを特徴とし、

請求項 5 に係るインバータ装置の構成は、複数のインバータユニットのうちの一部を筐体から取り出した場合に、取り出す前の当該インバータユニットの冷却フィンの存在による空気流の抵抗と略同一の抵抗を生じさせる抵抗発生手段を設けたことを特徴とする。